

## ブレンド型学習は、医療従事者のエビデンス・ベーストの医療コンピテンシー（EBHC）を増進させる際に非常に効果的である



**eラーニングはEBHCの知識と技能を増進させるのに、そして対面学習と組み合わせた際には、EBHCに関する態度と行動を増進させるのに有用なストラテジーである。**

### 本レビューの目的

このキャンベル・システムティック・レビューでは、エビデンス・ベースト医療の知識および実践を向上させる際のeラーニングの有効性を調査している。

エビデンス・ベースト医療（EBHC）は、研究による最善のエビデンスを知ること、医療における意思決定を行うものである。医者、看護師、関係する専門家は、EBHCを適用するために、必要な知識と技能を持つ必要がある。EBHCの訓練にeラーニングを使用することは増えてきている。

学習しない場合と比較して、eラーニングはEBHCに関する知識と技能を向上させるが、態度と行動は向上させない。eラーニングと対面学習を比較した際の結果に違いはない。eラーニングと対面学習を組み合わせること（ブレンド型学習）は、EBHCに関する知識、技能、態度、行動に対して有意な影響を与える。

### 本レビューの研究対象

エビデンス・ベースト医療（EBHC）に含まれるのは、知識のギャップに基づく言い回しに関する質問、その問いに答えることのできる研究を探すこと、その研究を批判的に評価し解釈すること、その結果を応用しその過程を検査することである。eラーニングはいっそうよく用いられるEBHCの教育方法になっている。

本レビューでは、医療専門家のEBHCに関するコンピテンシーを増進するためのEBHCのeラーニングの有効性を評価する。主要評価項目はEBHCに関する知識、技能、態度、行動である。

### レビューの対象となる研究

適格となる研究は、ランダム化比較試験（RCTs）、クラスターランダム化比較試験、非ランダム化比較試験、前後比較研究、分割時系列研究であり、医療専門家がEBHCに対する教育的介入を評価し、完全に電子プラットフォーム上で行われたもの（eラーニングのみ）あるいは部分的に行われたもの（ブレンド型学習）であり、学習しない場合、対面学習、あるいは他のEBHCにおけるeラーニングと比較したものである。



### 本レビューの最新度

本レビューの著者は2016年5月までに発表された研究を探した。このキャンベル・システマティック・レビューは2017年3月に発表された。

### キャンベル・コラボレーションとは

キャンベル・コラボレーションは、体系的なレビューを発表する、ボランティアによる非営利の国際研究組織である。我々は、社会科学と行動科学におけるプログラムに関するエビデンスを要約し、質を評価している、我々の目的は、人々がよりよい選択と政策決定を行うことを支援することである。

### このサマリーについて

このサマリーは、キャンベル・システマティック・レビュー2017年4号に掲載されたAnke Rohwer, Nkengafac Villyen Motaze, Eva Rehfuess, and Taryn Youngによる体系的なレビュー、「医療専門家におけるエビデンス・ベースト医療 (EBHC) のeラーニング (DOI10.4073/csr.2017.4) に基づきTaryn Young (キャンベル・コラボレーション) により作成された。本サマリーはTanya Kristiansen (キャンベル・コラボレーション) により編集・レイアウトされた。本サマリーの作成に対するアメリカ調査協会による経済的支援に関し付記する。



本レビューは24の試験を含み、20のランダム化比較試験と4の非ランダム化比較試験で構成されており、参加者は全員で3825人であった。参加者は、医師、看護師、理学療法士、医師助手、運動トレーナー、そしてあらゆる教育段階での専門家の集まりである。研究には様々な介入が含まれた。

### 本レビューにおける主要な結果

学習しない場合と比べて、eラーニングのみの場合はEBHCに関する知識と技能を向上させるが、態度と行動は向上させない。いかなる主要評価項目の向上においても、eラーニングのみの場合は対面学習と同程度の効果でしかない。

ブレンド型学習は、EBHCに関する知識、技能、態度、行動を向上させる上で、学習しない場合よりも優れているし、態度や行動を向上させる上で対面学習よりも優れている。eラーニングのみの場合と比べて、ブレンド型学習はEBHCに関する知識を向上させる。アウトカムを向上させる上でeラーニングのどの構成要素が効果的なのかは明確ではない。

しかし、対象となる研究の質は中程度から低レベルの範囲であり、個々の分析において対象となる研究の数が少なく、全ての比較における結果が正確さと一貫性に欠けるからである。結果を解釈する際には、こうした欠陥を考慮する必要がある。

### 本レビューにおける調査結果から得られる示唆

単体であろうとブレンド型であろうと、EBHCに関するeラーニングは、EBHCに関する知識と技能を向上させる。eラーニングと対面学習を比較した場合、結果に違いはない。ブレンド型学習はおおむね複数の介入で構成されており、EBHCに関する知識、技能、態度、行動を向上させる上で、他の種類の介入と比較して効果的であるように思われる。

これからの研究では、eラーニングの異なる構成要素に焦点を当て、介入の全ての構成要素、教育的背景、実施戦略についても十分に報告するべきである。